



『MINAMATA—ミナマター—』



©Larry Horricks

1971年、ニューヨーク。輝きを放っていた時期は過去のものとなり、写真家ユージン・スミスは荒んだ生活を送っていた。そんな時、スミスは工場が海に流す有害物質によって苦しんでいる日本人々を取材してほしいと頼まれる――。

チッソ社が熊本県水俣市の海へ流した工場排水に含まれた、メチル水銀化合物が原因とされる水俣病は、現在も被害者による訴訟が続いている。水俣病患者の、当時の日常生活、抗議運動やそれに対する企業の様子を記録し、1975年に刊行された写真集『MINAMATA』が、ジョニー・デップ主演により映画化された。

記者会見でデップは「(新型コロナウイルス感染症が蔓延している)今の時代に観てもらうべき作品」、「大切なのは、困っている人が隣にいたら助ける、本当はとてもシンプルなこと」、「水俣の人たちが経験してきたことを思い起こしてほしい。それは皆さんの近くにもあること」と語った。

主役を引き受ける条件の1つに「水俣病の物語を正しく伝えられるところまで企画を開発する」ことを挙げたデップ。水俣病はもとより、世界各国で同様に繰り返される、環境被害に苦しむ人々にも思いを寄せる作品となった。

* * *

作業療法士の川本愛一郎氏(リハシップ あい)は、真田広之が演じる患者運動のリーダー、ヤマザキ・ミツオ役のモデルの1人である川本輝夫さんのご子息。父の姿をみつめてきた川本氏に、映画への思いを語っていただいた。

● 川本愛一郎氏より：映画『MINAMATA—ミナマター—』への想い

真田広之さんが鬼気迫る迫力で、水俣病患者リーダーだった父を熱演している。父と真田さんの姿が重なって涙でスクリーンが滲んで見えた。患者たちの苦闘とそれを世界に伝えるために苦悩する写真家ユージンの姿が、レヴィタス監督とデップ氏らにより真摯に表現されている。感謝。

映画『MINAMATA—ミナマター—』

全国公開中

製作：ジョニー・デップ、他

監督：アンドリュー・レヴィタス

脚本：デヴィッド・K・ケスラー、他 音楽：坂本龍一

原案：写真集『MINAMATA』W.ユージン・スミス、
アイリーンM.スミス(著)

出演：ジョニー・デップ、真田広之、國村隼、美波、
加瀬亮、浅野忠信、岩瀬晶子、他

公式サイト <https://longride.jp/minamata/>

©2020 MINAMATA FILM, LLC

配給：ロングライド、アルバトロス・フィルム